方七間 一重 寄棟造 向拝三間 本瓦葺







朝光寺は法道上人の創立と伝えるのみで詳しいことは不明である。現本堂は仏壇の嵌板の記録から 応永20年(1413)の建立とみられる。組物を出組とするなど和様を基調としているが、扉を桟唐戸とした り、組物の中備を双斗を用いるなど禅宗様を取り入れた、いわゆる折衷様の密教本堂である。内部は前 三間が外陣で、そのうち側一間通りを化粧屋根裏、中央は鏡天井で虹梁を架ける。菱格子欄間と格子 戸でへだてた奥が内陣で、中央須彌壇に禅宗様の大きな厨子を安置している。室町時代初期折衷様 の密教本堂の一典型である。

兵庫県加東市社町畑 609 0795(44)0733 JR加古川線社駅からバス朝光寺ロ下車 徒歩約 50 分(電車・バスとも本数が少い) 境内自由